

インテュイティブサージカル、モバイルアプリ「My Intuitive」を日本で提供開始 ダビンチ手術のログデータの可視化により、外科医のスキルと治療成績の向上に貢献

【2022年3月2日 東京】 低侵襲治療の世界的リーダーで内視鏡手術支援ロボット分野のパイオニアであるインテュイティブサージカル（Nasdaq：ISRG）の日本法人、インテュイティブサージカル合同会社（社長：滝沢一浩、以下、インテュイティブ）は、この度、外科医向けのモバイルアプリ「My Intuitive（以下、「マイ・インテュイティブ）」の提供を開始しましたのでお知らせします。

「マイ・インテュイティブ」は、ダビンチサージカルシステムを使用して行われた手術のログデータを可視化して執刀医に提供するアプリケーションです。執刀医が自身のモバイル・デバイスに「マイ・インテュイティブ」をインストールした後、ダビンチサージカルシステムに「クラウド・ログイン」してダビンチ手術を執刀すると、自身の症例、手術時間（コンソールタイム）、使用したインストゥルメント（鉗子）の種類やその稼働時間などのログデータが集積され、確認することができるようになります。また、自身のデータを類似症例のコンソールタイムや使用インストゥルメントの全国平均と比較することで、自身の手術の傾向やラーニングカーブの確認が可能となることから、手技ならびに治療成績の向上にもつながることが期待されます。「マイ・インテュイティブ」は、ダビンチ手術のオンライン・トレーニング・プラットフォームである Intuitive Learning（インテュイティブ・ラーニング）への入り口としても機能するとともに、専用シミュレーターをご利用の場合には、実施した演習やそのスコアの確認等も可能となります。

本アプリでのデータの利用は、データプライバシーに関する法令に準じて行われます。本アプリを介して執刀医に提供されるのは執刀医自身のデータのみであり、執刀医の承諾なしに他者と共有、あるいは公開されることはありません。また、患者さんに関わる一切の個人情報を含みません。

「マイ・インテュイティブ」は、昨年9月より約20名のダビンチ手術執刀医を対象にパイロット運用を行い、使用感や活用方法のフィードバックを経て、この度本格導入の運びとなりました。今後はAIや機械学習データ分析を活用した各種アプリケーションのゲートウェイとしても機能し、より高度な3D手術画像、手術の動画記録やその分析、遠隔症例見学を可能とするアプリケーション等を搭載した、ダビンチサージカルシステムの総合デジタルポータルへと発展します。

「マイ・インテュイティブ」のパイロット導入にご参加いただき、実用化にご尽力頂いた順天堂大学医学部 呼吸器外科学講座の鈴木 健司 主任教授は次のように述べています。「マイ・インテュイティブのようなツールはこれまでありませんでした。手術のログデータの可視化を通じて自身の手術の傾向や立ち位置がわかるのは、より良いダビンチ手術を目指す上で参考になります。また、後進の教育にも大変有用だと思います」

また、インテュイティブサージカル合同会社社長の滝沢一浩は次のようにコメントしています。「当社は、Intuitive ecosystem（インテュイティブ・エコシステム）のデジタル化を強力に推進しています。マイ・インテュイティブはデジタル・エコシステムの入り口となるもので、将来的には、ダビンチ手術の最適化に役立つ適切な情報を、適切なタイミングでご提供できるさまざまなアプリケーションを追加してまいります。マイ・インテュイティブを介して先生方にご自身のデータを分析・活用いただくことで、治療成績の向上に役立てていただきたいと思っております」

インテュイティブは、デジタル化によるデータの活用を推進し、引き続きロボット支援手術市場を牽引するとともに、医療現場における4つの課題（Quadruple Aim: 治療成績の向上・患者さんの満足度の向上・ケアチームの満足度の向上・治療コストの低減）の達成に貢献してまいります。

以上

INTUITIVE

© 2022 Intuitive Surgical, Inc. All rights reserved. Product names are trademarks or registered trademarks of their respective holders.

PN1096820 JP Rev.A 03/22

順天堂大学について

順天堂大学は、6学部3研究科6附属病院からなる健康総合大学・大学院大学として、「教育」「研究」「診療・実践」という3つの柱を通じた国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めています。学是「仁」（人在りて我在り、他を思いやり慈しむ心、これ即ち「仁」）と理念「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢）に則り、出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め活躍の機会を与えるという「三無主義」の学風を掲げ、「教育」「研究」「診療・実践」を柱に、グローバル社会において医療やスポーツ、人々の健康を支える人材の育成・輩出に取り組んでいます。（<https://www.juntendo.ac.jp/>）

インテュイティブサージカルについて

インテュイティブサージカル（NASDAQ：ISRG）は、米国カリフォルニア州サニーベールに本社を置く低侵襲治療の世界的リーダーであり、内視鏡手術支援ロボット分野のパイオニアです。低侵襲手術によって生活がより良くなると信じ、創意工夫と **Intelligent Technology** の組み合わせで、医師が制約なく治療できる可能性を広げます。インテュイティブは、これまで20年以上にわたり、ロボット支援手術分野における技術開発と、ソリューションを提供しています。現在、手術支援ロボット「ダビンチサージカルシステム」および、ロボット支援肺生検用内視鏡ナビゲーションシステム「Ion（アイオン※本邦未承認）」の開発・製造・販売を行っています。

日本におけるインテュイティブについて

日本では、2010年に日本法人のインテュイティブサージカル合同会社を設立。東京、大阪、福岡を拠点に、ダビンチサージカルシステムの販売および保守サービス、医療者へのテクノロジートレーニングの提供等を行っています。日本では2009年に、ダビンチサージカルシステムが薬事承認を受け、2012年に前立腺がんで保険適用を受けました。その後、腎臓がん、食道がん、心臓弁形成術、肺がん、胃がん、直腸がん、膀胱がん、子宮体がん、腔式子宮摘出術、すい臓がん、仙骨固定術、腎盂尿管吻合術へと適応が拡大し、2022年2月現在21術式のロボット支援手術が、公的医療保険の対象となっています。詳細は[ウェブサイト](#)をご覧ください。

ダビンチサージカルシステムについて

ダビンチサージカルシステムは、外科医が行う低侵襲手術を支援する医療機器で、複数のモデルがあります。執刀医に鮮明な術野画像を提供する高倍率3DHD技術、小型化されたカメラ、人間の手首以上の可動域と手ぶれ補正機能を備えた専用インストゥルメント（鉗子）は、体のより深い部分で、組織の正確な解離や再建を支援するよう設計されています。

本件に関するお問い合わせ先

広報担当 フィンズベリー・グラバー・ヘリング intuitive-JP@fgh.com
笠原 070-2492-2216 / 浅野 070-7425-8483 / 服部 070-7484-7703

INTUITIVE

© 2022 Intuitive Surgical, Inc. All rights reserved. Product names are trademarks or registered trademarks of their respective holders.

PN1096820 JP Rev.A 03/22